

6月号

# いっしん

平成29年(2017年)

第389号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

み教えは  
人より己が  
身の守り  
守りて後に  
人に教えよ  
甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師神歌

## 「クモ合戦」(紙張り子)

「クモ合戦」は加治木町の国指定無形文化財



クモの色ぬりは楽しいけど  
↓  
ちょっとこわいのかな?!



紙芝居をじょうずに  
してくれました



少年少女会例会  
全国大会作品作り

五月二十一日



5月21日(土)



開会儀礼も上手にできました



少年少女会例会について「参加者が一人でもあれば、開かねば」と、先代 故矢野政美先生は仰つてありました。毎月の開催は残念ながらできていませんが、極力開催させていたいただきたいものです。

五月の例会は、少年少女会の会員の出席が少ない場合、二人ほどとわかつていましたが、先代 故政美先生の信念を思うと「開かせていただかねば」と、また「ここ何年か少年少女全国大会作品展に共同作品を出品していない」という思いがあり開かせていただきました。

工作の準備、実施計画書の作成などを前もつてしておけば、後々つながる意義深い育成活動となります。

四代金光様は、金光学園のある先生の悩みに対し「教育者は生徒より先に登校して生徒を迎えるくらいの気持ちが大切」との意味合いのみ教えをされています。

少年少女会のお世話も、子どもたちの将来にわたる信心教育ですから、教育者の立場なのです。

であるからには、事前の心構え・計画・準備に心を込めるべきことを自らにいつも言い聞かせることにしています。

(教員長)

世話になる同じ基盤に先生も  
生徒もありて成り立つ教育

四代教主 金光鑑太郎様御歌

甘木親教会

天地金乃神御大祭

参拝

四月二十五日(火)・二十六日(水)の両日、甘木親教会では天地金乃神御大祭が仕えられました。

第一日の二十五日は風薫る晴天で、第二日の二十六日はお湿りのお恵みの中に参拝のおかげを蒙らせていただきました。



御大祭第一日、ご祭典前境内に「園長先生おはようございます」とおっしゃいます。正面玄関前に設けられた御結界には、真愛保育園長も勤務される先生の姿が



ご祭典、ご教話後、弥生会館食堂にて昼食、そして帰途に

崎向先生(依積田教会長)と、上田さん、星原さん

加治木教会からは、二十六日(火)に、依積田教会長 崎向先生とご一緒に、二名が車で参拝させていただきました。(教会長は二十(四日から御用))

ご祭典が、安武親先生ご祭主のもと麗しくお仕えになりました。

ご祭典後、安武親先生のお孫さん(若先生の次男さん)方、男の子による吉備舞が奉納され、あと親先生のご教話を拝聴させていただきました。

甘木親教会 天地金乃神御大祭 親先生ご教話 (要旨)

甘木教会の初代、安武松太郎先生の入信は、明治二十四年二月二十日です。

参拝の前日に篠竹の切株が足に刺るケガをしたのですが、参拝する前からおかげをいただいて、往復十里(四十キロ)の道のりを歩いて参拝しています。

そうして、桂先生の、天地の恩というみ教えに、驚き、感動して帰っております。

初参拝したその日に御室を求めて持ち帰り、床の間に祀って、家族にその日聞いた話をして聞かせたということ

です。次に参拝した時には、人を誘って参拝しています。

以後、人と参拝しても自分が帰った後に、桂先生のありがたいみ教えがあると、桂先生が帰られなく、いつも人より遅くなつて帰っていたそうです。

初代は「信心はおかけを目的にするのではない、おかけは末の問題」と教えていますが、ここが大切なところだと思えます。

自分があるから、痛い・痒い・嬉しい「自分があるということがおかけ」と教えています。

しかし、信心のない人は「自分がある」ということは、当たり前なのです。

信心すると、自分があることがおかげだから、お願いをする前に、自分があることのお礼を申すのです。

自分があることが根本で、病気もあり、いろんなことが起こってくるのは末の問題ということなのです。

「信心は過去を静かに反省し、み教えの定規にあてて信心の眼で自己を正しく見直し、行先のこととは暫くおいて過去を清算し、感謝すべきは心から感謝し心行くまでお礼とお詫びを申し上げるべきであります。」

み教えを聴いて、心眼を開き、ありがたいと思うことができるようになることが大切だと思います。

初代は「お礼が六分、お詫びが三分、お願い一分」と教えられています。これが「甘木の信心」と言う人もいますが、

私は教祖様の信心であると思えます。

お礼が大切なのですが、毎日が「どうぞ御用にお使いください」というお願いが多くなっています。

「心行くまでお礼とお詫びを申し上げることが本当なのです。」

「廣大無辺のご神徳によって自分があるということが的確に分からねばなりません」と、教えられています。なかなか分かりません。

今日は、小学校二年生になる孫が吉備舞をさせていただきました。ありがたいことです。

私は、子どもの頃、人と違うことができませんが、赤い模様のある服も赤い色は女の子のようだと思つて、そこだけ取り外して着て行っていました。

しかし、その孫がお結界にきて、弥生会館の何が欲しいとしきりに言いますがわかりませんので、一緒に弥生会館まで行ってみますと、弥生会館の事務所まで売っている御室(おむろ)：神様を祀る木製み扉が欲しいと言っています。これには驚きました。

お広前で神様にお礼を申すといつても気が向いた時だけということでもあ

りますが、神様がありがたいということではないでしょうが、心が神様に向かうことは大切なことです。

また、外孫が二人帰ってきたとき、五才の男の子が脱いだ靴を揃えていました。

すると下の三才の女の子も靴を揃えました。甘木に来た時だけしているとは思えません。ありがたいことです。

我々大人が恥ずかしくないようにしなければなりません。小さい時から教えればできるのです。

私たちが「信心する」から「信心になる」というように、ならせてもらわねばならないのですが、なかなか出来ません。それでは信心ではないのです。

自分の都合の良いように、神様を使つているようなところがあるように思っています。

【甘木親教会  
親先生ご講話 要旨】

加治木教会教会  
**天地金乃神御大祭**  
 仕えられる

四月三十日(日)加治木教会では、  
 天地金乃神御大祭が仕えられました。

前日から信奉者の皆さんが準備の  
 御用に当たられ、お直会の下ごしらえ  
 お広前の小旗張りや下足箱の準備な  
 どがなされました。

当日は、信奉者一同でご大祭の直会  
 やお広前周辺の準備に早くより取り  
 かからせていただき、午前十一時から  
 ご祭典が仕えられ、天地の親神様のお  
 徳をお称え申し上げ、生神金光大神  
 大様をお差し向けになられ天地の間  
 に住む人間の助かり立ち行くことを  
 願われる神心を、我が願い・祈りとし  
 て信心生活を現して行く祈りをささ  
 げさせていただきました。

ご祭典後のご教話は、大口教会長安  
 武先生でした。

ご教話では「信心には、これ以上は  
 進めない、というところから、お取次

頂いたみ教えをさらに掘下げ・掘り進  
 め、頂きぬくという姿勢が大切」と、教  
 祖様のみ教え、上分教会初代真田先  
 生の遺言のお話、ご自身の大口教会後  
 継当初のご体験をもとに、信心の向  
 上・成長をはかるには、いかなる信心  
 をなすべきかをお話し下さいました。  
 (※)教話のCDを聞いて信心の勉強  
 をなされたい方は教会までお知らせ下  
 さい。願い通りに助かり立ち行くこと  
 ができるほどに信心が進み改まるには、  
 車の運転中にもみ教えを拝聴するく  
 らいの熱心さが必要です。)



安武秀信先生(大口教会長)



ご祭典 祭詞奏上中



「神人の栄光」斉唱中



安武光太郎先生  
 (人吉教会長・前講中)



安武秀信先生  
 (大口教会長・ご教話中)



玉串奉奠中



前日夕方 幕張り等の御用に

# 甘木親教会 布教記念祭奉祝 バレーボール大会

五月四日(祝)甘木親教会では、布教記念祭奉祝バレーボール大会が開かれ、参加のおかけを蒙らせていただき、ありがとうございました。



開会式・閉会式は甘木教会体育館で

甘木親教会では、五月八日が布教記念日であり、例年「布教記念祭」が仕えられます。



ゲーム開始前の整列・握手

今年では第六十三回となる奉祝バレーボール大会が、約三十チーム(同数ほどの教会)の参加がありました。加治木教会からも、五名が(二名事前申し込み・二名当日参加)参加させていただきました。



松田信也さんのサーブ、エイッ!



風薫る晴天の中、無事到着

AリーグからFリーグまであり、加治木教会は「南九州チーム」で、Eリー

グでした。下の方のリーグ(E・Fリーグ)は、和気あいあいの雰囲気の中に試合が進められます。

上位のリーグは選手などの経験者が何人か入り、少し本格的になります。

「南九州チーム」は、人吉教会・宮之城教会・多良木教会・国東教会・蘇陽教会・山鹿教会・加治木教会で、南九州教区内の複数の教会で構成され、今年では十五名ほどが集いました。それぞれの教会から一名〜三名ほどが出場しました。

十八人以上になると二つのチームが参加できます。来年は「南九州チーム」A・Bと、二つのチームの参加ができることが期待されます。

今年ではEリーグの中で、勝ちゲームがありませんでしたので、来年はFリーグに落ちます。

大会終了後「南九州チーム」のキャプテン安武光太郎先生(人吉教会)のお父様(甘木教会 安武 光 先生)のお宅で、BBQをしていただき、来年のいつもの健闘を語り合い、帰途につかせていただきました。

# クラ刀自の頂かれた 信心をたずねて

なぜ  
「当たってもおかげ当たらなくても  
おかげと思うのならば、お願いして  
やってもいいが」だったのでしょうか？

『安武松太郎教話集 第十集』(九十  
一頁)に次のような件があります。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

…田地もすっかり売り払ってしまいま  
した。そして、その日の生活さえも困難にな  
ってまいりました。その時に妻君が、

「先生、いよいよ行き詰まりましたよ  
うがごさいませんから、頼母子講がありま  
すので、その講がどうか私の方にクジ当た  
りになりますようにお願いできますまい  
か」

と申して参りましたので、

「当たってもおかげ、当たらないでもおか  
げと思うのならばお願いしてもよいが」

「それでもよろしゅうございます」

「それではお願いしましょう」

その結果、クジは、見事に外れました。

その年(年末)にその講をいただきまし  
て、それで冬の支払いもできて、必要な物  
や馬も車も買って、荷馬車を始めたのであ  
ります。それが今から十二、三年前のこと  
であります。



白野矢野

…(中略)と  
うとうその妻の  
熱烈な信仰に  
よって、主人も  
ついに我を折り  
まして、そして信仰に立ち返り、田地も畑  
も一町二反も買わせていただき喜んでお  
ります。

財産からいえば何でもない財産ですが、  
一、二年前は食うに食えない状態であり  
ましたものが、今日は何ら差し支えもな  
く、日々ありがたい喜び楽しみ心のをもっ  
て、どの日を迎えるというようなおかげを  
いただいております。

…(中略)ですから、右と願えば右、左  
と願えば左となれば、無論おかげとは申  
しますが、反対の結果になると、「おかげ  
ではなかった」と申しますけれども、真のお  
かげというものは、ただ「心に願って、本  
当の私どものためのよいこと、自分自身の  
ためにも人のためにもよいことがおかげで  
あります。」

これが人間であれば、いかに立派な人で  
ありまして、やはり人間でありますから、  
やってみればその結果を見ることができま  
せん。

しかし親神様は、そんな近眼ではあら  
れません。親神様は、私どものために真に  
よろしいようにしか、なしくださらぬもの

であると思うのであります。人は人情のた  
めにそうでないと思っても、それではそう  
するか、というようなこともありますけれ  
ども、親神様は、そんなことはありますま  
い。

それでありますから、この親神様をどこ  
まで信ずるかということが、私どもの信心  
にとって大切なことであります。中には、  
神様を信するよりはおかげを信する、とい  
うところから、そのおかげを受けたいとい  
うために信心している人がありますが、ど  
この教会にもそれがたくさんあるのであり  
ますが、それはおかげを信じているからで、  
親神様を信じているのではない。

それで、おかげのために信心がどうでも  
なりません。それは親神様を信じてないから  
であります。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

くじ当たりしなかつた場合も、先々のた  
めにお計らい下さる親神様のおかげの結  
果であり、深い親心・愛情の現れであるこ  
とを安武松太郎先生はお伝えになられた  
かつたのであります。

将来にわたり、先の先まで見越したお  
かげにして下さる、その親心をわからねば、  
歩んでいる、信心の道を見失うことにもな  
りかねないことを教えてあるのです。

少年少女全国大会に向け(7月末まで)

# まごころ運動

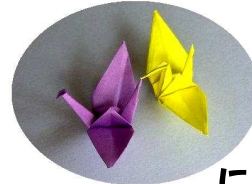
に取り組みましょう。

平和の折りづる

※古切手・古カード

えんぴつ(新)

を集めます。



▼換金後 海外の送れない子どもたちへ送られます。

## 使用済み切手収集についてのお願い

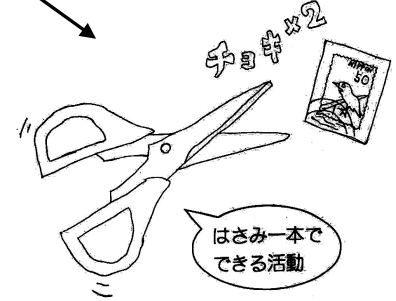
※お願い

※切手ははがさないで、以下の要領で切り取ってください。

※切手の周囲を5 程度あけて切り取ってください。

※枚数を明記してお届けください。

※外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。



使用済み切手の収集は少年少女全国大会「まごころ運動」の取り組みのひとつです。

## ご霊神様のおまじない

六月

平地正巳之霊神(1日)昭和20年

前田 豊之霊神(6日)昭和20年

星原雅志之霊神(11日)昭和56年

最勝寺ヒサ之霊神(11日)平成11年

汰木セツエ之霊神(11日)平成22年

大重為光之霊神(20日)平成18年

三反クニ子之霊神(24日)昭和21年

平地フチエ之霊神(25日)昭和18年

安武シケ清和大刀白之霊神(26日)昭和32年

前田賢二之霊神(27日)平成3年

金竹フミ之霊神(27日)平成25年

本中野米子之霊神(30日)昭和62年

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

## 感 詠

(教会長)

育成は祈りの  
尊き祈りの  
伝承で  
後の代までも  
確に遺りぬ

耐えてこそ咲く  
アマリリス  
温和な越冬  
花咲ききれず

## あしあと

加治木教会行事記録

5月

1(月)●報徳月例祭10時半

4(祝)甘木親教会バレーボール大会参加

5(祝)西鹿兒島教会御大祭12時

7(日)多良木教会御大祭11時

9(月)清掃御用 10時

10(火)●月例祭 生神金光 10時半 大神様 12時

14(日)大口教会 御大祭 12時

20(土)上荒田教会御大祭11時

20(土)少年少女会作品作り10時半

21(日)鹿兒島教会御大祭11時

22(月)●月例祭 共励会 13時半

24(水)●連夏の集い企画会議 教会等

28(日)泉田教会30年記念大祭

31(水)清掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

主催・全国信徒会 担当・南九州教区信徒会  
宮崎県教会連合会

### 西南ブロック信心研修会

場所・宮日会館十一階 宮日ホール

日時・六月四日(日) 十二時半〜十六時

※出発・午前九時、レンタカーにて。

六月十日(土) 午前十時半より

月例祭に併せて

加治木教会

### 布教66年記念祭奉仕

六月三十日(木) 十時半より

### 上半期感謝祭奉仕

※感謝祭お届け用紙にご記入の上御結界へお届け下さい。

六月二十五日(日) 午前十時半〜午後三時

鹿児島地方教会連合会

### 信奉者研修会

講師 甘木教会・前北九州教務センター所長  
安武光 先生

場所：宮之城教会

※昼食は各自持参か、申込み三〇〇円。

### 教会行事

#### 6月

- 1(木)●報徳月例祭 10時半
- 3(土)親教会参拝日(参拝未定)
- 4(日)西南ブロック信心研修会
- 6(火)〜7(水)教区教師研修会
- 9(金)清掃御用 10時
- 10(土)●月例祭 10時半
- 併せて 加治木教会布教六十六年記念祭
- 11(日)御本部教団独立記念祭(参拝未定)
- 21(水)清掃御用 10時
- 22(木)●月例祭 共励会 13時半
- 25(日)連信奉者研修会 10時  
宮之城教会
- 29(木)清掃御用 10時
- 30(金)上半期感謝祭 10時半
- 《未定行事》青年会・若婦人会・少年少女会

#### 7月

- 1(土)●報徳月例祭 10時半
- 3(月)親教会参拝日(参拝未定)
- 9(土)清掃御用 10時
- 10(日)●月例祭 10時半
- 16(土)甘木親教会 教師研修会
- 17(日)●甘木親教会 祈願祭
- 21(木)清掃御用 10時
- 22(金)●月例祭 ご祭典のみ 10時半
- 引き続き 御用奉仕
- 23(日)加治木教会 祈願祭 11時
- 30(日) 連合会主催 女性の集い 10時半
- 31(月)清掃御用 10時
- ” さつま大会(連合会・婦人教師会) 10時半

### 加治木教会 バンド練習会

練習日 随時連絡します。

今年も練習会に参加のおかけを頂き、みんなが8月の全国大会で、健康の御礼を現させて頂いていただきますように。

「熊本地震」の「移動図書館」がおあしすーが開かれるときの演奏奉仕のおかけを蒙らせていただくこともできます。被災地のみなさんの心を癒すことができる、まごころの演奏を目標に!

### 八月三日(水)〜六(土) 出発二日

午前九時〜 午後三時解散  
少年少女会連合本部

### 御本部年代別キャンプ

対象、中高生 ※スタッフで矢野裕子参加  
詳しくは、教会まで。